



# スポンサーシップのお願い (趣意書)

**ICAR2026**

**第 20 回国際動物繁殖学会  
20th International Congress on Animal Reproduction**

開催地：北海道帯広市

会期：2026 年 6 月 22 日（月）～ 2026 年 6 月 26 日（金）

公益社団法人日本繁殖生物学会 第 20 回国際動物繁殖学会組織委員会

謹啓,

貴社・貴団体におかれましては、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、私どもは2026年6月22日(月)～6月26日(金)に、第20回国際動物繁殖学会 [英語名: 20th International Congress on Animal Reproduction] (ICAR2026)を北海道帯広市(とちちプラザ, 他)において開催するための準備を進めています。

ICARは非営利の国際組織であり、動物(家畜, 野生動物, 伴侶動物等)の繁殖や生殖工学全般を扱う国際会議を、4年毎に世界各地で開催しています。毎回60以上の国・地域より1000人超が参加する当分野の最大規模の学術集会であり、アジアでは今回が初開催となります。また、そのホスト学会を公益社団法人日本繁殖生物学会が担当することになりました。

ICARは1948年に動物繁殖と人工授精に関する国際会議として設立され、現在の畜産, 伴侶動物, 野生動物の繁殖技術の進歩に大きく貢献してきました。ICARが開催する国際学術集会は動物繁殖学の世界の進歩のアップデートを共有するオリンピックと言われています。研究集会のテーマは、ウシを始めとするすべての家畜, 伴侶動物, 野生動物の繁殖, 生理・病理学, 最新の生殖技術などです。学術集会は、基調講演, シンポジウム, ワークショップ, 一般ポスター発表, 企業展示により構成されます。開催期間の前後では関連する複数の国際サテライト学術集会が開かれます。

第20回大会では、1,000名(うち海外より700名)を超す参加者を見込み、各国・地域の学会・学術団体の代表者がそれぞれ基調講演を行うことで、国際的な協力関係を深化させるとともに、約100題の基調講演ならびにシンポジウム・ワークショップでの発表と議論、および600題以上の一般ポスター発表の実施を予定しています。また本会議の特徴は、若手研究者による成果発表や研究交流の推進に力点を置いていることで、これにより実験動物だけでなく、家畜から伴侶動物, 野生動物など全ての哺乳動物を網羅する生殖生物学の将来的な発展を担える優秀な研究者の育成を目指します。

ご存じのように国際会議の運営には多額の費用を要し、組織委員会においても収入を得るために最善を尽くしていますが、まだ予算は不足しているのが現状です。貴社・貴団体におかれましては、本国際会議の趣旨をご理解いただき、ご賛同とご援助を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

2024年11月吉日

公益社団法人日本繁殖生物学会 第20回国際動物繁殖学会組織委員会

大会長: 宮本 明夫

委員長・事務局長: 菊地 和弘

## 第 20 回国際動物繁殖学会の概要

### 1. 大会の名称

和文名：第 20 回国際動物繁殖学会

英文名：20th International Congress on Animal Reproduction

略 称：ICAR2026

### 2. 公式サイト

<https://icar2026.jp>

### 3. 開催機関等及び責任者名・連絡先

主 催：公益社団法人日本繁殖生物学会 第 20 回国際動物繁殖学会組織委員会  
(〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-24-12)

大会長：宮本 明夫（帯広畜産大学 畜産学部 教授）

委員長・事務局長：菊地 和弘（国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門）

大会に関するお問い合わせ先（E-mail）：[icar2026@reproduction.jp](mailto:icar2026@reproduction.jp)

### 4. 推薦団体

誘致活動にあたり、下記団体から開催提案書作成時に推薦状をお寄せいただきました。

- ・公益社団法人 日本畜産学会
- ・公益社団法人 日本獣医学会
- ・一般社団法人 日本卵子学会
- ・日本胚移植技術研究会
- ・農林水産省
- ・観光庁
- ・日本政府観光局
- ・北海道
- ・帯広市
- ・国立大学法人 帯広畜産大学
- ・全国農業協同組合連合会

### 5. 会期 2026 年 6 月 22 日（月）～ 2026 年 6 月 26 日（金）

### 6. 会場

#### 1) 帯広市民文化ホール

〒080-0015 北海道帯広市西 5 条南 11 丁目 48

TEL：0155-23-8111, FAX：0155-23-8112

#### 2) とかちプラザ

〒080-0014 北海道帯広市西 4 条南 13 丁目 1

TEL：0155-22-7890

- 3) ホテル日航ノースランド帯広  
〒080-0012 北海道帯広市西 2 条南 13 丁目 1  
TEL : 0155-24-1234, FAX : 0155-28-3553
- 4) 北海道ホテル  
〒080-8511 北海道帯広市西 7 条南 19 丁目 1  
TEL : 0155-21-0001

## 7. 大会の目的

国際動物繁殖学会は、動物繁殖学とその最新技術に関する最大級の国際学術集会です。アジアでは初の開催となる本大会では、ウシを始めとしたすべての家畜、伴侶動物、野生動物の繁殖、生理・病理学、最新の生殖技術などをテーマとした基調講演、シンポジウム、ワークショップ、一般ポスター発表、企業展示、関連する複数の国際サテライト学術集会を開催します。本大会では、1,000名（海外より700名）を超す参加者が見込まれており、我が国の動物繁殖分野の優れた研究成果を世界に発信するとともに、世界各国の研究者との情報交換や議論を通じて国際的な協力関係の深化、我が国における当該分野の振興と普及を目的としています。さらに、若手研究者による成果発表や研究交流の推進に力点を置くことで、我が国の畜産を支えてゆく次世代のリーダーの育成を目指します。

## 8. 開催計画の概要

講演形式：基調講演、シンポジウム、ワークショップ、一般ポスター発表

企業展示：18社を予定

使用言語：英語

参加予定者数：国外700名、国内300名、合計1000名

参加予定国等：日本、豪州、英国、アイルランド、米国、カナダ、中国、フランス、ドイツ、ベルギー、スイス、スペイン、ポルトガル、オランダ、ポーランド、ハンガリー、オーストリア、ニュージーランド、ブラジル、アルゼンチン、韓国、タイ、ベトナム、フィリピン、シンガポール、台湾、エジプトなど

## 9. プレシンポジウム

期日：2026年6月22日（月）

ICAR2026の本大会プログラムに先立ち、ICAR2026の特別企画として初日の午後、「牛と馬の繁殖：獣医師、畜産業界（あるいは産業界）、そして次世代へのメッセージ」と題して、ICARに参加する当該分野の世界的なリーダー複数名を講演者に迎え、国内の研究者・技術者とともに、議論するプレシンポジウムを企画しています。これには、農業高校の生徒や大学生（無料）、現場の技術者、獣医師らの参加を奨励します。

## 10. 開催実績

- 第1回：イタリア（ミラノ）・1948年  
第2回：デンマーク（コペンハーゲン）・1952年  
第3回：イギリス（ケンブリッジ）・1956年  
第4回：オランダ（ハーグ）・1961年

- 第5回：イタリア（トレント）・1964年
- 第6回：フランス（パリ）・1968年
- 第7回：ドイツ（ミュンヘン）・1972年
- 第8回：ポーランド（クラクフ）・1976年
- 第9回：スペイン（マドリード）・1980年
- 第10回：アメリカ（アーバナ・シャンペーン）・1984年
- 第11回：アイルランド（ダブリン）・1988年
- 第12回：オランダ（ハーグ）・1992年
- 第13回：オーストラリア（シドニー）・1996年
- 第14回：スウェーデン（ストックホルム）・2000年
- 第15回：ブラジル（ポルト・セゲーロ）・2004年
- 第16回：ハンガリー（ブダペスト）・2008年
- 第17回：カナダ（バンクーバー）・2012年
- 第18回：フランス（トゥール）・2016年
- 第19回：イタリア（ボローニャ）・2022年（新型コロナウイルス感染症により2年延期）
- 第20回：日本（帯広）・2026年

## 11. スポンサーシップをお願いする理由

繁殖技術は、乳肉牛生産と酪農を始めとした畜産業の根幹を支える重要な基盤技術です。動物繁殖学とその最新技術の最大級の国際学術集会を、我が国の大家畜である乳肉牛生産の中心である北海道・十勝で開催することは、我が国の家畜の生産性向上、獣医技術の向上等に資することが期待されます。また、海外からも多くの動物繁殖学や生殖工学等に携わる優れた研究者の参加が見込まれており、我が国の畜産を支えてゆく次世代のリーダーたちにとって極めて大きな知的財産になると同時に、農畜産の国際化に向けた国際感覚を成長させる絶好の機会となります。2026年6月に北海道において開催する第20回会議には、海外から約700名、国内から約300名の合計1,000名の参加が予定され、準備運営等に関する総経費を約6,800万円と見込んでいます。これらの経費は、本来、大会参加登録費、公的機関からの助成金等でまかなうことが前提ではありますが、特に若手研究者の参加を促進するための支援等（学生参加費の低料金設定）や発展途上国の若手研究者の参加支援を充実させたいとの事由により、収入総額が1,600万円超不足しているため、この不足額を企業様および団体様からのスポンサーシップに頼らざるを得ないのが現状です。これらの理由により、スポンサーシップに関しましてご理解とご協力をお願いする次第です。なお、スポンサーシップの申し出をいただきました企業様・団体様等の名称の一覧やロゴマークを、募集クラスに応じて大会ウェブサイト、プログラム集、会議開催中の会場におけるプログラムの間での大型スクリーンなどに掲載させていただく予定であることを申し添えさせていただきます。尚、スポンサーシップの各クラスの特典についての詳細は、申込書に記載した一覧表をご覧ください。

## 12. 現時点での収支概算

収入の部	
区分	金額 (円)
大会参加登録費	45,000,000
助成金(公的機関より)[予定]	2,000,000
総説出版助成金	5,000,000
収入合計 (A)	52,000,000
支出の部	
区分	金額 (円)
会場費・設備使用料	15,000,000
配布物品(バック, 文房具ほか)	1,500,000
ソーシャルイベント(随行者向けプログラム含む)	6,300,000
プログラム集・要旨集発行	5,800,000
大会準備費・事務局運営費	7,100,000
発展途上国若手研究者支援	1,500,000
業務委託費(学会開催業務委託先: JTB ほか)	17,000,000
総説出版	7,500,000
ICAR 運営協賛金	3,750,000
税	2,650,000
支出合計 (B)	68,100,000
収支見込み (A-B)	-16,100,000

## 13. 添付書類

- ・ スポンサーシップ申込書
- ・ プログラム(最新版)
- ・ フライヤー(最新版)

## 14. 振込銀行口座

### 1) ゆうちょ銀行

記号番号：総合：15470-32722691（普通：五四八店 3272269）

名義：公益社団法人 日本繁殖生物学会

読み：シヤ) ニホンハンショクセイブ`ツカ`ツカイ

#### a. ゆうちょ銀行からご送金の場合

公益社団法人 日本繁殖生物学会

シヤ) ニホンハンショクセイブツガツカイ

※「ヤ」は大文字

記号：15470

番号：32722691

b. ゆうちょ銀行以外の金融機関からご送金の場合

ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店名：五四八（読み：ゴヨンハチ）

店番：548

預金種目：普通

口座番号：3272269

2) 三井住友銀行

三井住友銀行 巣鴨支店

名義：公益社団法人 日本繁殖生物学会

読み：コウエキシヤダンハウジン ニホンハンシヨクセイブツガツカイ

店番号：693

口座番号：7700436

預金種目：普通預金

## お問い合わせ ならびに お申込み

メールにてお問い合わせください。

お申込みは、添付の申込書にご記入いただき、メール添付にてお願いいたします。

E-mail: [icar2026@reproduction.jp](mailto:icar2026@reproduction.jp)

公益社団法人日本繁殖生物学会 第20回国際動物繁殖学会組織委員会 事務局宛